

# 第19期 定時株主総会招集ご通知



日時

2023年6月29日（木曜日）午前10時



場所

京都市南区吉祥院西ノ庄猪之馬場町1番地

当社ホール

（末尾の「株主総会会場のご案内」をご参照願います。）

電磁的方法（インターネット等）または郵送による議決権行使期限

2023年6月28日（水曜日）午後5時到着分まで

## 決議事項

第1号議案 剰余金の処分の件

第2号議案 取締役7名選任の件

第3号議案 監査役1名選任の件

第4号議案 取締役賞与支給の件

株主総会にご出席の株主様へのお土産のご用意は  
ございません。

株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション

（証券コード 6674）

証券コード 6674

2023年6月8日

(電子提供措置の開始日) 2023年6月1日

株 主 各 位

京都市南区吉祥院西ノ庄猪之馬場町1番地  
株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション  
取締役社長 村 尾 修

## 第19期定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り有り難く厚く御礼申し上げます。

さて、当社第19期定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご通知申し上げます。

なお、当日ご出席されない場合は、電磁的方法（インターネット等）または書面のいずれかの方法によって議決権を行使することができますので、お手数ながら株主総会参考書類をご検討下さいまして、3頁の「議決権行使についてのご案内」に従って、**2023年6月28日（水曜日）午後5時**までに議決権を行使して下さいますようお願い申し上げます。

敬 具

記

1. 日 時 2023年6月29日（木曜日）午前10時
2. 場 所 京都市南区吉祥院西ノ庄猪之馬場町1番地 当社ホール  
(末尾の「株主総会会場のご案内」をご参照願います。)
3. 目的事項  
報告事項 1. 第19期（2022年4月1日から2023年3月31日まで）事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件  
2. 第19期（2022年4月1日から2023年3月31日まで）計算書類報告の件  
決議事項  
第1号議案 剰余金の処分の件  
第2号議案 取締役7名選任の件  
第3号議案 監査役1名選任の件  
第4号議案 取締役賞与支給の件

#### 4. 電子提供措置に関する事項

本株主総会の招集に際しては、株主総会参考書類等の内容である情報（電子提供措置事項）について電子提供措置をとっており、以下のいずれかのウェブサイトにアクセスのうえ、ご確認下さいますようお願い申し上げます。

##### 【当社ウェブサイト】

<https://www.gs-yuasa.com/jp/ir/meeting.php>



##### 【株主総会資料 掲載ウェブサイト】

<https://d.sokai.jp/6674/teiji/>



- ・電子提供措置事項に修正が生じた場合は、上記の各ウェブサイトに掲載させていただきます。
- ・電子提供措置事項のうち、次に掲げる事項につきましては、法令および当社定款第15条第2項の定めに基づき、書面交付請求をいただいた株主様に交付する書面には記載しておりません。なお、以下①から⑩に記載の各事項は、監査役会および会計監査人が監査報告書を作成するに際して、事業報告ならびに連結計算書類および計算書類の一部として合わせて監査を受けております。
  - ①会計監査人に関する事項
  - ②業務の適正を確保するための体制等の整備についての取締役会決議の内容の概要および運用状況の概要
  - ③連結株主資本等変動計算書
  - ④連結注記表
  - ⑤貸借対照表
  - ⑥損益計算書
  - ⑦株主資本等変動計算書
  - ⑧個別注記表
  - ⑨連結計算書類に係る会計監査人の監査報告書 謄本
  - ⑩会計監査人の監査報告書 謄本
  - ⑪監査役会の監査報告書 謄本

以 上

~~~~~  
◎当日の受付開始時間は、午前9時を予定しております。

◎当日ご出席の際は、お手数ながら同封の議決権行使書用紙を会場受付にご提出下さいますようお願い申し上げます。

◎当日は、株主様のみご入場いただけます。代理出席の場合は、代理人の方も株主様であることが必要です。なお、代理人は1名とさせていただきます。



## 議決権行使についてのご案内

株主総会における議決権は、株主の皆様の大切な権利です。後記の株主総会参考書類をご検討のうえ、議決権を行使して下さいますようお願い申し上げます。議決権を行使する方法は、以下の3つの方法がございます。



### 株主総会にご出席いただく場合

同封の議決権行使書用紙を会場受付にご提出下さい。

開催日時

2023年6月29日(木曜日)  
午前10時



### 書面による議決権行使の場合

同封の議決権行使書用紙に各議案に対する賛否をご記入のうえ、ご返送下さい。

行使期限

2023年6月28日(水曜日)  
午後5時到着分まで



### 電磁的方法(インターネット等)による議決権行使の場合

次頁の案内に従って、各議案の賛否をご入力下さい。

行使期限

2023年6月28日(水曜日)  
午後5時入力完了分まで

### 議決権のお取扱いについて

1. 書面(郵送)により議決権を行使された場合の議決権行使書において、議案に対する賛否の表示がない場合は、賛成の表示があったものとしてお取扱いいたします。
2. 電磁的方法(インターネット等)と書面により議決権を重複して行使された場合は、電磁的方法(インターネット等)によるものを有効な議決権行使としてお取扱いいたします。
3. 電磁的方法(インターネット等)により複数回議決権を行使された場合は、最後に行使されたものを有効な議決権行使としてお取扱いいたします。

### インターネットによる議決権行使に関する注意事項

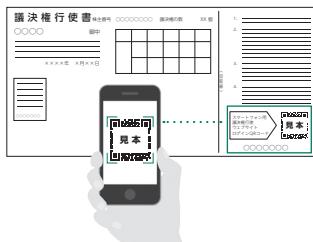
1. 同封の議決権行使書用紙に表示された「QRコード」または「議決権行使コード」および「パスワード」をご利用になり、画面の案内に従って賛否をご入力下さい。
2. 議決権行使ウェブサイトをご利用いただく際のプロバイダおよび通信事業者の料金(接続料金等)は、株主様のご負担となります。
3. パスワードは、議決権を行使される方が株主様ご本人であることを確認するための重要な情報ですので、大切にお取扱い下さい。
4. パスワードは、一定回数以上間違えると使用できなくなります。パスワードの再発行をご希望の場合は、画面の案内に従ってお手続き下さい。
5. 議決権行使書用紙に記載されている議決権行使コードは、本総会に限り有効です。

# インターネット等による議決権行使のご案内

## QRコードを読み取る方法 「スマート行使」

議決権行使コードおよびパスワードを入力することなく議決権行使ウェブサイトへログインすることができます。

- 1 議決権行使書用紙右下に記載のQRコードを読み取って下さい。



※「QRコード」は株式会社デンソーウェブの登録商標です。

- 2 以降は画面の案内に従って賛否をご入力下さい。



「スマート行使」での議決権行使は1回に限り可能です。

議決権行使後に行使内容を変更する場合は、お手数ですがPC向けサイトへアクセスし、議決権行使書用紙に記載の「議決権行使コード」・「パスワード」を入力してログイン、再度議決権行使をお願いいたします。

※QRコードを再度読み取っていただくと、PC向けサイトへ遷移できます。

## 議決権行使コード・パスワードを入力する方法

議決権行使ウェブサイト <https://www.web54.net>

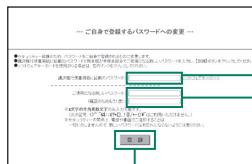
- 1 議決権行使ウェブサイトへアクセスして下さい。



- 2 議決権行使書用紙に記載された「議決権行使コード」をご入力下さい。



- 3 議決権行使書用紙に記載された「パスワード」をご入力下さい。



- 4 以降は画面の案内に従って賛否をご入力下さい。

※操作画面はイメージです。

インターネットによる  
議決権行使に関する  
お問い合わせ先

インターネットによる議決権行使に関するご不明な点につきましては、右記にお問い合わせ下さい。

三井住友信託銀行  
証券代行ウェブサポート

専用ダイヤル

0120-652-031 (午前9時～午後9時受付)

議決権行使に関する  
事項以外のご照会

0120-782-031 (平日午前9時～午後5時受付)

機関投資家の皆様は、株式会社ICJの運営する機関投資家向け「議決権電子行使プラットフォーム」をご利用いただくことが可能です。

## 株主総会参考書類

### 第1号議案 剰余金の処分の件

剰余金の処分につきましては、以下のとおりといたしたいと存じます。

期末配当に関する事項

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要政策のひとつと考えておりますが、それと同時に配当は原則として、連結の業績動向を踏まえ、財務状況、配当性向等を総合的に勘案して決定すべきものと考えております。

当期の期末配当につきましては、当事業年度の連結業績ならびに今後の事業展開等を勘案いたしまして、以下のとおりといたしたいと存じます。

なお、当期は中間配当金として当社普通株式1株につき15円をお支払いしておりますので、年間の配当金は1株につき50円となります。

1. 配当財産の種類

金銭といたします。

2. 配当財産の割当てに関する事項およびその総額

当社普通株式1株につき、金35円といたしたいと存じます。

なお、この場合の配当総額は、2,817,717,105円となります。

3. 剰余金の配当が効力を生じる日

2023年6月30日といたしたいと存じます。

## 第2号議案 取締役7名選任の件

現在の取締役7名は、本総会終結の時をもって全員任期満了となりますので、改めて取締役7名の選任をお願いいたしたく存じます。

なお、当社は、取締役の人事の透明性および客観性を確保するために、独立役員である社外取締役を委員の過半数とし、かつ委員長とする、指名・報酬委員会を設置しており、取締役候補者の選定につきましては、指名・報酬委員会の答申を経たうえで、取締役会で決定しております。

取締役候補者は次のとおりであります。

| 候補者番号 | 氏名                                                                                                                                                                                                                             | 現在の当社における地位および担当          | 取締役会の出席状況         | 取締役在任期間 |
|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------|-------------------|---------|
| 1     | むらお<br>村尾 修 <span style="background-color: #008080; color: white; padding: 2px;">再任</span>                                                                                                                                     | 取締役社長<br>最高経営責任者<br>(CEO) | 100%<br>(17回/17回) | 11年     |
| 2     | しぶたに<br>澁谷 昌弘 <span style="background-color: #008080; color: white; padding: 2px;">再任</span>                                                                                                                                   | 専務取締役                     | 100%<br>(17回/17回) | 2年      |
| 3     | ふくおか<br>福岡 和宏 <span style="background-color: #008080; color: white; padding: 2px;">再任</span>                                                                                                                                   | 取締役                       | 100%<br>(17回/17回) | 3年      |
| 4     | まつしま<br>松島 弘明 <span style="background-color: #008080; color: white; padding: 2px;">再任</span>                                                                                                                                   | 取締役<br>最高財務責任者<br>(CFO)   | 100%<br>(13回/13回) | 1年      |
| 5     | おおたに<br>大谷 郁夫 <span style="background-color: #008080; color: white; padding: 2px;">再任</span><br><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">社外</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">独立</span>  | 取締役                       | 100%<br>(17回/17回) | 6年      |
| 6     | まつなが<br>松永 隆善 <span style="background-color: #008080; color: white; padding: 2px;">再任</span><br><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">社外</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">独立</span>  | 取締役                       | 100%<br>(17回/17回) | 5年      |
| 7     | ののがき<br>野々垣 好子 <span style="background-color: #008080; color: white; padding: 2px;">再任</span><br><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">社外</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">独立</span> | 取締役                       | 100%<br>(17回/17回) | 3年      |

(注) 取締役 松島弘明氏は、2022年6月29日開催の定時株主総会において選任されており、就任後の取締役会の開催回数は13回です。

| 候補者<br>番号 | 氏 名<br>(生年月日)                                                                                                                             | 略歴、当社における地位および担当<br>(重要な兼職の状況)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 所有する当社<br>株式の数 |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 1         |  <p><b>再任</b><br/>むらお おさむ<br/>村尾 修<br/>(1960年1月15日生)</p> | <p>1982年4月 日本電池(株)(現(株)GSユアサ)入社<br/> 2011年6月 (株)GSユアサ理事<br/> 2012年6月 当社取締役、品質担当、技術副担当<br/> (株)GSユアサ取締役<br/> (株)ジーエス・ユアサ テクノロジー取締役<br/> 2014年6月 当社産業電池電源事業副担当<br/> 2015年6月 当社取締役社長(現任)、最高経営責任者(CEO)(現任)<br/> (株)GSユアサ取締役社長(現任)</p> <p>[重要な兼職の状況]<br/> (株)GSユアサ取締役社長</p> <p><b>【取締役候補者とした理由および期待される役割】</b><br/> 村尾 修氏は、製造および生産技術部門における業務経験に加え、取締役として品質、技術、産業電池電源事業を担当し、当社グループの事業に関する幅広い識見を有しております。また、2015年6月に当社取締役社長就任後、CEOとして当社グループを統括しており、当社グループの中期経営計画の策定を指揮し、計画の遂行に向けてリーダーシップを発揮するなど当社グループの経営を牽引してまいりました。これらの豊富な経験と識見から、グループ経営全般の統括および監督に適した人材であると判断し、引き続き取締役として選任をお願いするものであります。</p> | 15,556株        |

| 候補者<br>番号 | 氏 名<br>(生年月日)                                                                                                                                       | 略歴、当社における地位および担当<br>(重要な兼職の状況)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 所有する当社<br>株式の数 |
|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 2         |  <p><b>再任</b><br/>しづたに まさひろ<br/><b>澁谷 昌弘</b><br/>(1960年11月2日生)</p> | <p>1984年4月 湯浅電池(株)(現 株)G S ユアサ)入社<br/> 2006年1月 当社財務統括部担当部長<br/> 2007年4月 (株)ジーエス・ユアサ アカウンティングサービス(現 株)G S ユアサ)取締役<br/> 2010年4月 湯浅(天津)実業有限公司 董事総経理<br/> 2012年4月 当社コーポレート室担当部長<br/> 当社内部統制室担当部長<br/> 2014年6月 (株)G S ユアサ理事<br/> (株)ジーエス・ユアサ バッテリー監査役<br/> 2016年6月 (株)G S ユアサ執行役員<br/> (株)ジーエス・ユアサ バッテリー取締役社長<br/> 2019年6月 (株)G S ユアサ上席理事<br/> 2020年4月 同社取締役<br/> 2021年4月 同社常務取締役<br/> 2021年6月 当社常務取締役<br/> 2022年6月 当社専務取締役(現任)<br/> (株)G S ユアサ専務取締役(現任)</p> <p>[重要な兼職の状況]<br/> (株)G S ユアサ専務取締役</p> <p><b>【取締役候補者とした理由および期待される役割】</b><br/> 澁谷昌弘氏は、自動車電池事業や管理部門における業務経験に加え、海外子会社の役員を務めるなど、グローバルな事業経営と管理、運営業務に関する識見を有しております。これらの豊富な経験と識見から、グループ経営全般の統括および監督に適した人材であると判断し、引き続き取締役として選任をお願いするものであります。</p> | 3,712株         |

| 候補者<br>番号 | 氏 名<br>(生年月日)                                                                                                                                       | 略歴、当社における地位および担当<br>(重要な兼職の状況)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 所有する当社<br>株式の数 |
|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 3         |  <p><b>再任</b><br/>ふくおか かずひろ<br/><b>福岡 和宏</b><br/>(1959年7月18日生)</p> | <p>1982年4月 日本電池(株)(現 株)GSユアサ)入社<br/> 2004年4月 当社経営戦略統括部(情報システム)担当部長<br/> 2005年10月 株)ジーエス・ユアサ ビジネスサポート(現 株)GSユアサ)取締役<br/> 2008年8月 Siam GS Battery Co., Ltd.代表取締役副社長<br/> 2015年6月 株)GSユアサ理事<br/> 2017年6月 同社人事部長(現任)<br/> 2019年6月 同社上席理事<br/> 2020年4月 同社取締役(現任)<br/> 2020年6月 当社取締役(現任)</p> <p>[重要な兼職の状況]<br/> 株)GSユアサ取締役</p> <p><b>【取締役候補者とした理由および期待される役割】</b><br/> 福岡和宏氏は、情報システム、経営戦略、人事などの管理部門における業務経験に加え、海外子会社の役員を務めるなど、グループ経営全般に関する識見を有しております。これらの豊富な経験と識見から、グループ経営全般の統括および監督に適した人材であると判断し、引き続き取締役として選任をお願いするものであります。</p> | 8,611株         |

| 候補者<br>番号 | 氏 名<br>(生年月日)                                                                                                                                       | 略歴、当社における地位および担当<br>(重要な兼職の状況)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 所有する当社<br>株式の数 |
|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 4         |  <p><b>再任</b><br/>まつしま ひろあき<br/><b>松島 弘明</b><br/>(1966年1月15日生)</p> | <p>1989年4月 湯浅電池(株)(現 株)G S ユアサ)入社<br/> 2015年4月 当社コーポレート室担当部長<br/> 2016年6月 株)G S ユアサ)理財部長(現任)<br/> 株)ジーエス・ユアサ アカウンティングサービス(現 株)G S ユアサ) 取締役<br/> 株)ジーエス・ユアサ フィールディングス監査役<br/> 2017年6月 株)G S ユアサ)理事<br/> 2018年6月 株)ジーエス・ユアサ アカウンティングサービス(現 株)G S ユアサ) 取締役社長<br/> 2020年4月 当社コーポレート室長(現任)<br/> 2021年4月 株)G S ユアサ)取締役(現任)<br/> 2022年6月 当社取締役(現任)、最高財務責任者(CFO)(現任)</p> <p>[重要な兼職の状況]<br/> 株)G S ユアサ)取締役</p> <p><b>【取締役候補者とした理由および期待される役割】</b><br/> 松島弘明氏は、経理、財務、情報システムなどの管理部門における業務経験に加え、子会社の取締役や監査役を務めるなど、グループ経営全般に関する識見を有しております。これらの豊富な経験と識見から、グループ経営全般の統括および監督に適した人材であると判断し、引き続き取締役として選任をお願いするものであります。</p> | 5,197株         |

| 候補者<br>番号 | 氏 名<br>(生年月日)                                                                                                                                                                     | 略歴、当社における地位および担当<br>(重要な兼職の状況)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 所有する当社<br>株式の数 |
|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 5         |  <p><b>再任</b></p> <p><b>社外</b> <b>独立</b></p> <p>おおたに いくお<br/><b>大谷 郁夫</b><br/>(1953年11月20日生)</p> | <p>1976年 3月 (株)ワコール(現 (株)ワコールホールディングス)入社<br/> 2004年 6月 同社執行役員経営管理部長<br/> 2006年 6月 (株)ワコール取締役執行役員経営管理担当<br/> 2008年 4月 同社取締役執行役員総合企画室長<br/> 2010年 4月 同社取締役執行役員経理担当<br/> (株)ワコールホールディングス経営企画部長<br/> 2010年 6月 同社取締役<br/> 同社グループ管理統括兼経営企画部長<br/> 2011年 6月 同社常務取締役<br/> 2012年 6月 同社専務取締役<br/> 2017年 6月 当社取締役(現任)</p> <p><b>【社外取締役候補者とした理由および期待される役割】</b><br/> 大谷郁夫氏は、グローバルに展開する上場企業である持株会社における経営企画、グループ管理の経験および同社取締役としての経験から、グループ経営全般に関する幅広い識見を有しております。これらの豊富な経験と識見および中立的かつ客観的な視点から当社取締役会としての業務執行に対する監督機能を発揮いただけるものと判断し、引き続き社外取締役として選任をお願いするものであります。</p> | 609株           |

| 候補者<br>番号 | 氏 名<br>(生年月日)                                                                                                                                                                                                                                                         | 略歴、当社における地位および担当<br>(重要な兼職の状況)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 所有する当社<br>株式の数 |
|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 6         |  <p data-bbox="243 505 323 541"><b>再任</b></p> <p data-bbox="243 556 429 592"><b>社外</b> <b>独立</b></p> <p data-bbox="243 601 429 692">まつなが たかよし<br/><b>松永 隆善</b><br/>(1951年5月11日生)</p> | <p>1975年4月 積水化学工業(株)入社</p> <p>2002年6月 同社取締役、高機能プラスチックカンパニーシニアバイスプレジデント</p> <p>2004年4月 同社取締役、高機能プラスチックカンパニーIT関連ビジネスユニット担当</p> <p>2004年6月 同社常務取締役、高機能プラスチックカンパニーIT関連ビジネスユニット担当</p> <p>2005年4月 同社専務取締役、高機能プラスチックカンパニープレジデント</p> <p>2008年4月 同社専務取締役、専務執行役員、高機能プラスチックカンパニープレジデント</p> <p>2008年6月 同社取締役、専務執行役員、高機能プラスチックカンパニープレジデント</p> <p>2014年3月 同社取締役、社長特命事項担当</p> <p>2014年6月 同社監査役<br/>積水樹脂(株)社外監査役</p> <p>2018年6月 当社取締役(現任)</p> <p><b>【社外取締役候補者とした理由および期待される役割】</b></p> <p>松永隆善氏は、グローバルに展開する上場企業における取締役としての経営経験に加え、上場企業の監査役としての経験から、経営全般を監督するための幅広い識見を有しております。これらの豊富な経験と識見および中立的かつ客観的な視点から当社取締役会としての業務執行に対する監督機能を発揮いただけるものと判断し、引き続き社外取締役として選任をお願いするものであります。</p> | 1,296株         |

| 候補者<br>番号 | 氏 名<br>(生年月日)                                                                                                                                                            | 略歴、当社における地位および担当<br>(重要な兼職の状況)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 所有する当社<br>株式の数 |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 7         |  <p><b>再任</b></p> <p><b>社外</b> <b>独立</b></p> <p>ののがきよしこ<br/>野々垣好子<br/>(1957年7月31日生)</p> | <p>1980年4月 ソニー(株)(現 ソニーグループ(株))入社<br/> 1992年9月 ソニーポーランド代表取締役社長<br/> 1994年7月 ソニー(株)(現 ソニーグループ(株))記録メディア&amp;エナ<br/> ジ事業本部販社統括部長<br/> 1999年4月 同社パーソナルITネットワーク事業本部企画マー<br/> ケティング統括部長<br/> 2006年4月 同社ビジネス&amp;プロフェッショナル事業本部事業企<br/> 画統括部長<br/> 2009年4月 同社ビジネス&amp;プロフェッショナル事業本部企画マ<br/> ーケティング部門部門長<br/> 2013年4月 同社人事本部グローバルダイバーシティダイレク<br/> ター<br/> 2015年6月 (株)ジョリーパスタ社外取締役<br/> 2019年6月 (株)ニフコ社外取締役(現任)<br/> 2020年6月 当社取締役(現任)<br/> 2021年6月 サトーホールディングス(株)社外取締役(現任)</p> <p>[重要な兼職の状況]<br/> (株)ニフコ社外取締役<br/> サトーホールディングス(株)社外取締役</p> <p><b>【社外取締役候補者とした理由および期待される役割】</b><br/> 野々垣好子氏は、グローバルに展開する上場企業の事業部門における業務経験や<br/> 海外子会社における経営経験に加え、上場会社における社外取締役としての経験か<br/> ら、経営全般を監督するための幅広い識見を有しております。これらの豊富な経験<br/> と識見および中立的かつ客観的な視点から当社取締役会としての業務執行に対する<br/> 監督機能を発揮いただけるものと判断し、引き続き社外取締役として選任をお願い<br/> するものであります。</p> | 691株           |

- (注) 1. 各取締役候補者と当社との間には、特別の利害関係はありません。
2. 大谷郁夫、松永隆善、野々垣好子の各氏は、社外取締役候補者であります。
3. 大谷郁夫氏は、現在当社の社外取締役であります。社外取締役としての在任期間は、本総会終結の時をもって6年となります。
4. 松永隆善氏は、現在当社の社外取締役であります。社外取締役としての在任期間は、本総会終結の時をもって5年となります。
5. 野々垣好子氏は、現在当社の社外取締役であります。社外取締役としての在任期間は、本総会終結の時をもって3年となります。
6. 当社は、大谷郁夫、松永隆善、野々垣好子の各氏との間で、当社定款第28条および会社法第427条第1項に基づき、同法第423条第1項の賠償責任の限度額を1,000万円または同法第425条第1項に定める最低責任限度額のいずれか高い額とする責任限定契約を締結しており、各氏の再任が承認された場合は、当該契約を継続する予定であります。
7. 当社は、保険会社との間で会社法第430条の3第1項の規定に基づく役員等賠償責任保険契約を締結しており、各候補者が取締役に選任され就任した場合は、全ての取締役が当該保険契約の被保険者となる予定であります。また、当該保険契約は次回更新時においても同内容での更新を予定しております。なお、当該保険契約の内容の概要は、事業報告「3. 会社役員の状況 (1)取締役および監査役の状況 (注)9.」に記載のとおりであります。
8. 当社は、大谷郁夫、松永隆善、野々垣好子の各氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として届け出ております。各氏の再任が承認された場合は、当社は引き続き各氏を独立役員とする予定であります。

ご参考

政策保有株式に関する方針

当社が純投資目的以外の目的で保有する株式は、取引先等の株式を保有することで中長期的な関係維持、取引拡大、シナジーが期待できるものを対象としており、当社は当社の企業価値を高め、株主、投資家のみなさまの利益に繋がると考える場合に、このような株式を保有いたします。このため当社では毎年、個別の株式につき取締役会において保有の合理性を検証しております。検証の結果、保有の合理性がないと判断したものについては縮減を図ります。

上記の方針に基づき、当連結会計年度においても政策保有株式の一部売却を行っております。

なお、保有合理性については、毎年取締役会において個別銘柄ごとに次の観点を中心に検証を行ない、保有の合理性を確認しております。

| 定性情報                                                        | 定量情報                          |
|-------------------------------------------------------------|-------------------------------|
| 取引関係の有無<br>取引関係以外の保有意義<br>将来的な取引・アライアンスの可能性<br>株式処分した場合のリスク | 直近の取引高、利益額<br>年間受取配当金額、株式評価損益 |

政策保有株式に係る議決権行使については、中長期的な企業価値向上の観点から、投資先企業の議案の合理性を総合的に判断のうえ、議決権を行使しております。

政策保有株式の銘柄数および貸借対照表計上額

(単位：銘柄、百万円)

| 区 分   |          | 2021年度末 | 2022年度末 | 増 減    |
|-------|----------|---------|---------|--------|
| 上場株式  | 銘柄数      | 30      | 28      | △2     |
|       | 貸借対照表計上額 | 28,021  | 24,538  | △3,483 |
| 非上場株式 | 銘柄数      | 25      | 25      | 0      |
|       | 貸借対照表計上額 | 573     | 573     | 0      |
| 合 計   | 銘柄数      | 55      | 53      | △2     |
|       | 貸借対照表計上額 | 28,595  | 25,111  | △3,483 |

(注) 1. 銘柄数および貸借対照表計上額は、連結子会社のうち政策保有株式の貸借対照表計上額が最も大きい会社である㈱G S コアサの保有分を含んでおります。

2. 2022年度末においては、上記の他にみなし保有株式が22,946百万円あり、政策保有株式（みなし保有株式を含む）の合計額は48,058百万円となります。これは2022年度末における連結純資産残高の17.7%となります。

みなし保有株式の金額は、2022年度末の時価に保有株式数を乗じて算出しております。

### 第3号議案 監査役1名選任の件

本総会終結の時をもって、監査役 村上真之氏が辞任いたしますので、監査役1名の補欠選任をお願いいたしたく存じます。

なお、本議案に関しましては、監査役会の同意を得ております。

監査役候補者は次のとおりであります。

| 氏名<br>(生年月日)                                                                                                                                             | 略歴および当社における地位<br>(重要な兼職の状況)                                                                                                                                                               | 所有する当社株式の数 |  |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|--|
|  <p><b>新任</b></p> <p>なかがわ まさや<br/><b>中川 正也</b></p> <p>(1963年7月13日生)</p> | 1987年4月 日本電池(株)(現(株)GSユアサ)入社                                                                                                                                                              | 4,468株     |  |
|                                                                                                                                                          | 2008年7月 GS Battery Vietnam Co., Ltd.取締役社長                                                                                                                                                 |            |  |
|                                                                                                                                                          | 2015年4月 (株)GSユアサ国際事業部企画本部副本部長<br>同社グローバル技術統括本部技術戦略室担当部長                                                                                                                                   |            |  |
|                                                                                                                                                          | 2015年8月 同社国際事業部企画本部長<br>同社国際事業部企画本部戦略企画部長                                                                                                                                                 |            |  |
|                                                                                                                                                          | 2016年6月 同社理事<br>同社国際事業部事業開発本部品質管理部担当部長                                                                                                                                                    |            |  |
|                                                                                                                                                          | 2017年4月 同社自動車電池事業部企画本部長<br>同社自動車電池事業部企画本部戦略企画部長                                                                                                                                           |            |  |
|                                                                                                                                                          | 2018年4月 同社グローバル技術統括センター技術戦略室担当部長                                                                                                                                                          |            |  |
|                                                                                                                                                          | 2019年6月 同社取締役(現任)<br>同社自動車電池事業部副事業部長                                                                                                                                                      |            |  |
|                                                                                                                                                          | <p><b>【監査役候補者とした理由】</b></p> <p>中川正也氏は、自動車電池事業部や国際事業部における業務経験に加え、海外子会社の経営を経験し、当社グループの経営、管理全般に関する豊富な識見を有しております。これらの経験と識見から、取締役会や業務執行に対する監査機能のさらなる充実が図れるものと判断し、新たに監査役として選任をお願いするものであります。</p> |            |  |

- (注) 1. 監査役候補者と当社との間には、特別の利害関係はありません。
2. 当社は、保険会社との間で会社法第430条の3第1項の規定に基づく役員等賠償責任保険契約を締結しており、中川正也氏が監査役に就任した場合は、当該保険契約の被保険者となる予定であります。また、当該保険契約は次回更新時においても同内容での更新を予定しております。なお、当該保険契約の内容の概要は、事業報告「3. 会社役員 の状況 (1)取締役および監査役 の状況(注)9.」に記載のとおりであります。
3. 中川正也氏は、現在(株)GSユアサの取締役であります。2023年6月28日付で退任予定であります。

ご参考

## 第2号および第3号議案承認後の経営体制（予定）

| 氏名     | 地位および担当                   | 当社が期待する知見・経験 |      |             |        |       |      |           |     | 指名・報酬委員会 |
|--------|---------------------------|--------------|------|-------------|--------|-------|------|-----------|-----|----------|
|        |                           | 企業事業経営       | 財務会計 | 法務リスクマネジメント | ITデジタル | グローバル | 製造開発 | マーケティング営業 | ESG |          |
| 村尾 修   | 取締役社長<br>最高経営責任者<br>(CEO) | ○            |      | ○           |        |       |      | ○         | ○   | ■        |
| 澁谷 昌弘  | 取締役副社長                    | ○            | ○    |             |        | ○     |      | ○         |     | ■        |
| 福岡 和宏  | 取締役                       | ○            |      | ○           | ○      |       |      |           | ○   |          |
| 松島 弘明  | 取締役<br>最高財務責任者<br>(CFO)   | ○            | ○    |             | ○      |       |      |           | ○   |          |
| 大谷 郁夫  | 取締役                       | ○            | ○    | ○           |        |       |      |           | ○   | ■        |
| 松永 隆善  | 取締役                       | ○            |      |             |        | ○     | ○    |           | ○   | ■        |
| 野々垣 好子 | 取締役                       | ○            |      |             |        | ○     |      | ○         | ○   | ■        |
| 古川 明男  | 監査役(常勤)                   | ○            |      |             |        | ○     |      | ○         |     |          |
| 中川 正也  | 監査役(常勤)                   | ○            |      |             |        | ○     |      | ○         |     |          |
| 藤井 司   | 監査役                       |              | ○    | ○           |        |       |      |           | ○   |          |
| 辻内 章   | 監査役                       |              | ○    | ○           |        |       |      |           | ○   |          |

(注) 1. 地位および担当は本総会終了後の取締役会または監査役会にて決定いたします。

2. 各氏に当社が特に期待する項目を最大4つまで記載しております。上記一覧表は、各氏の有する全ての知見や経験を表すものではありません。

#### 第4号議案 取締役賞与支給の件

当期末時点の、社外取締役を除く取締役4名に対し、当期の業績等を勘案して総額10百万円以内の賞与を支給いたしたく存じます。

本議案は、事業報告「3. 会社役員の状況 (2)取締役および監査役の報酬等 ①取締役の報酬等の額またはその算定方法の決定に関する方針に係る事項」に記載の取締役会において決定された方針に基づき、独立社外取締役3名、社内取締役2名で構成される指名・報酬委員会の答申を経たうえで決定したものであり、当該方針の内容に照らしても相当であると判断しております。

なお、各取締役に対する金額は、取締役会にご一任願いたく存じます。

以 上

## 事業報告（2022年4月1日から2023年3月31日まで）

### 1. 企業集団の現況に関する事項

#### (1) 事業の経過およびその成果

当連結会計年度における世界経済は、新型コロナウイルス感染症による経済活動の停滞が緩和され、経済活動の正常化が進みました。しかし、ウクライナ情勢等に起因するエネルギーコスト増加などにより、インフレが継続しています。各国でインフレ抑制のため金融緩和政策が転換され、米国での銀行破綻が起こるなど、先行き不透明な状況が続いております。

このような経済状況の中、当社グループでは、主としてハイブリッド車用リチウムイオン電池の販売数量が増加していることや、Inci GS Yuasa Aku Sanayi ve Ticaret Anonim Sirketiを連結化した影響に加え為替の円安影響もあり、当連結会計年度の売上高は、5,177億35百万円と前連結会計年度に比べて856億1百万円増加（19.8%）いたしました。これに伴ない、営業利益は315億円（のれん等償却前営業利益は320億74百万円）と前連結会計年度に比べて88億35百万円増加（39.0%）いたしました。経常利益は持分法による投資損益の悪化や支払利息の増加等により、242億13百万円と前連結会計年度に比べて4億70百万円減少（△1.9%）いたしました。固定資産や投資有価証券売却益等の計上もあり、親会社株主に帰属する当期純利益は、139億25百万円と、前連結会計年度に比べて54億57百万円増加（64.5%）いたしました。

事業別の状況は、以下のとおりであります。

#### 【報告セグメント】

##### [自動車電池]

国内における売上高は、販売数量は前年同期比を下回りましたが、販売価格是正の取組を進め、878億2百万円と前連結会計年度に比べ63億7百万円増加（7.7%）いたしました。セグメント損益（のれん等償却前）は、65億47百万円と前連結会計年度に比べて6億69百万円増加（11.4%）いたしました。

海外における売上高は、Inci GS Yuasa Aku Sanayi ve Ticaret Anonim Sirketiを連結化した影響に加え為替の円安影響もあり、2,473億29百万円と前連結会計年度に比べて605億86百万円増加（32.4%）いたしました。セグメント損益（のれん等償却前）は、物流費等のコスト増の影響を受けましたが、売上高増加の影響により、133億45百万円と前連結会計年度に比べて33億80百万円増加（33.9%）いたしました。

これにより、国内・海外合算における売上高は、3,351億31百万円と前連結会計年度に比べて668億93百万円増加（24.9%）いたしました。セグメント損益（のれん等償却前）は、198億92百万円と前連結会計年度に比べて40億49百万円増加（25.6%）いたしました。

#### [産業電池電源]

売上高は、大型風力発電用リチウムイオン電池の納入が前年度で終了した影響はありましたが、販売価格は正の取組を進めたことにより、992億4百万円と前連結会計年度に比べて2億61百万円の減少(△0.3%)に留まりました。セグメント損益は、販売構成の変化により、88億8百万円と前連結会計年度に比べて30億32百万円増加(52.5%)いたしました。

#### [車載用リチウムイオン電池]

売上高は、ハイブリッド車用リチウムイオン電池の販売が増加したことにより、653億55百万円と前連結会計年度に比べて177億17百万円増加(37.2%)いたしました。セグメント損益は、19億86百万円と前連結会計年度に比べて3億31百万円増加(20.1%)いたしました。

これらの結果、報告セグメントの売上高は4,996億91百万円、セグメント損益(のれん等償却前)は306億87百万円となりました。

#### 【その他事業】

売上高は、航空機用リチウムイオン電池の販売が増加したことにより、180億43百万円と前連結会計年度に比べて12億51百万円増加(7.5%)いたしました。全社費用等調整後のセグメント損益は、13億87百万円と前連結会計年度に比べて8億7百万円増加(139.3%)いたしました。

#### [事業別売上高およびセグメント利益]

| 区 分       |              | 売 上 高   |           | セグメント利益 |          |
|-----------|--------------|---------|-----------|---------|----------|
|           |              | 金 額     | 構 成 比     |         |          |
| 報告セグメント   | 自動車電池        | 国内      | 87,802百万円 | 17.0 %  | 6,547百万円 |
|           |              | 海外      | 247,329   | 47.8    | 13,345   |
|           | 産業電池電源       | 99,204  | 19.2      | 8,808   |          |
|           | 車載用リチウムイオン電池 | 65,355  | 12.6      | 1,986   |          |
|           | 小 計          | 499,691 | 96.5      | 30,687  |          |
| そ の 他 事 業 |              | 18,043  | 3.5       | 1,387   |          |
| 合 計       |              | 517,735 | 100.0     | 32,074  |          |

- (注) 1. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントおよびセグメント利益の調整額であります。報告セグメントに含まれない事業セグメントは、特殊電池事業等を含んでおります。
2. セグメント利益は、のれん等償却前営業利益を指しております。

## (2) 資金調達の状況

借入金等につきましては、持分法適用関連会社であったInci GS Yuasa Aku Sanayi ve Ticaret Anonim Sirketiを当事業年度より連結子会社化したことによる増加に加え、事業資金の増加に対応するため、借入を実施したこと等により、211億58百万円増加し、1,036億36百万円となりました。

## (3) 設備投資の状況

当連結会計年度中において実施した設備投資の総額は328億円であり、その主なものは次のとおりであります。

当連結会計年度において完成した主要設備

(株)ブルーエナジー 生産増強のための機械装置等

(株)GSユアサ 産業電池電源事業用建屋の老朽化に伴う建替等

## (4) 重要な企業再編等

当社の連結子会社である(株)GSユアサは、2022年4月28日付でInci Holding A.S.との間で締結した株式売買契約に基づき、Inci GS Yuasa Aku Sanayi ve Ticaret Anonim Sirketiの発行済株式を追加取得し出資比率を60%としたうえで、同社を連結子会社化いたしました。

## (5) 直前3事業年度の財産および損益の状況

| 区 分                      | 2019年度<br>第16期 | 2020年度<br>第17期 | 2021年度<br>第18期 | 2022年度<br>第19期(当期) |
|--------------------------|----------------|----------------|----------------|--------------------|
| 売上高(百万円)                 | 395,553        | 386,511        | 432,133        | 517,735            |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益(百万円) | 13,674         | 11,455         | 8,468          | 13,925             |
| 1株当たり当期純利益(円)            | 168.23         | 141.91         | 105.23         | 173.11             |
| 総資産(百万円)                 | 385,416        | 431,913        | 480,763        | 540,906            |
| 純資産(百万円)                 | 205,318        | 234,570        | 249,938        | 270,890            |

## (6) 対処すべき課題

### I. 経営環境および中長期的な課題

カーボンニュートラルの動きは世界規模で加速しており、特に欧州や中国、日本では電動化や再生可能エネルギーの導入に向けた動きが顕著になっています。当社の事業はサステナビリティとの親和性が高く、気候変動やエネルギー資源の問題解決が人類全体のテーマとなる中で、当社の社会的使命と責任はさらに大きくなっています。

当社がこれからの社会に貢献していくためには、培ってきた電気を蓄える・使う技術の更なる革新とともに、それらの技術を社会インフラとして広く実装・運用していくことが重要で

す。エネルギーデバイスの開発・製造・販売から、エネルギーを社会全体で使いこなすためのエネルギーマネジメント、さらにその先にあるエネルギー資源循環にまで視野を広げ、サステナブルな社会の実現に貢献してまいります。

カーボンニュートラルの潮流を時代の変節点と捉えており、急激に市場環境が変化する中、2035年に向けた長期ビジョン「Vision2035」を策定しました。Vision2035で「2035年のGSユアサのありたい姿」を示した上で、実現に向けた変革のための土台作りの期間として、2023年度から2025年度までの3年間の第六次中期経営計画を策定しています。第六次中期経営計画で挙げる事業構造変革に向けた諸施策を実行することが当社の課題であると認識しています。

#### 第六次中期経営計画 実行施策

- ①BEV用電池開発
  - ・本田技研工業(株)との合併会社を活用した高容量・高出力なリチウムイオン電池開発
  - ・モビリティ・社会インフラビジネス拡大のためのBEV用電池生産/供給体制整備
- ②既存事業の収益力強化
  - ・徹底した付加価値創出と収益性改善
  - ・国内産業電池電源事業における圧倒的な優位性による利益最大化
  - ・中国事業見直しを含む地域戦略の転換、主要拠点へのリソース集中と利益の最大化
- ③DX/新規事業
  - ・事業構造転換を可能にするDX推進
  - ・社会課題解決に貢献する新規事業創出

## II. 事業別の対処すべき課題

### 1. 自動車電池事業

需要変動への迅速な対応と在庫削減を両立する供給体制を構築するとともに原材料価格などの適正な売価反映による収益率の向上を図ります。また、中国事業の抜本的見直しを推進する一方、アセアン拠点の強化による利益の最大化に取り組み、選択と集中による将来に向けた経営体制の変革と収益の強化を図ってまいります。

### 2. 産業電池電源事業

常用分野において次世代の成長を取り込む事業基盤を構築すべく長期的な社会インフラビジネス拡大に向けた準備を進めるとともに、非常用分野においてはこれまでのビジネスモデルを拡張したサービスの事業化や顧客への更なる付加価値提供を通して収益性向上を図ります。また、海外市場における製品ラインアップ拡充による競争力の強化に取り組みます。

### 3. 車載用リチウムイオン電池事業

ハイブリッド車用電池の更なる増産体制の構築ならびに収益性の向上を図るとともに、

BEV用電池については本田技研工業(株)との共同研究による高容量・高出力な電池の開発、生産/供給体制の整備に取り組んでまいります。

当社といたしましては、品質重視の基本姿勢に基づいた事業運営によりお客様に安心と信頼を提供するとともに、「革新と成長」の企業理念のもと、持続可能な社会の実現と企業価値の向上に向けた事業基盤の構築に努めてまいります。

(7) 主要な事業内容 (2023年3月31日現在)

| 事業内容         |    | 主要製品                                                                                          |
|--------------|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 自動車電池        | 国内 | 自動車用・二輪車用鉛蓄電池、自動車関連機器                                                                         |
|              | 海外 | 自動車用・二輪車用鉛蓄電池、小型鉛蓄電池、その他各種用途電池                                                                |
| 産業電池電源       |    | 据置用・車両用・電動車用・その他各種用途鉛蓄電池、小型鉛蓄電池、アルカリ蓄電池、産業用リチウムイオン電池、整流器、汎用電源、電池関連機器、各種照明機器、紫外線応用機器、その他各種電源装置 |
| 車載用リチウムイオン電池 |    | 車載用リチウムイオン電池                                                                                  |
| その他          |    | 大型リチウムイオン電池、特殊電池、その他各種用途電池                                                                    |

(8) 主要な営業所および工場ならびに使用人の状況

① 主要な営業所および工場 (2023年3月31日現在)

|                  |     |                                                                                                                       |
|------------------|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 当社               | 営業所 | 京都本社（京都市南区）、東京支社（東京都港区）                                                                                               |
| (株)GSユアサ         | 営業所 | 本社（京都市南区）、北海道支社（札幌市中央区）、東北支社（仙台市青葉区）、東京支社（東京都港区）、中部支社（名古屋市中区）、関西支社（大阪市北区）、中国支社（広島市中区）、九州支社（福岡市中央区）                    |
|                  | 工場  | 京都（京都市南区）、長田野（京都府福知山市）、群馬（群馬県伊勢崎市）                                                                                    |
| (株)ジーエス・ユアサバッテリー | 営業所 | 本社（東京都港区）、北海道支店（札幌市中央区）、東北支店（仙台市宮城野区）、首都圏支店（東京都墨田区）、関東支店（さいたま市北区）、中部支店（名古屋市千種区）、関西支店（兵庫県尼崎市）、中国支店（広島市西区）、九州支店（福岡市博多区） |
| (株)GSユアサエナジー     | 営業所 | 本社（静岡県湖西市）                                                                                                            |
|                  | 工場  | 浜名湖（静岡県湖西市）                                                                                                           |

|                                                       |     |                                   |
|-------------------------------------------------------|-----|-----------------------------------|
| (株)ジーエス・ユアサ<br>テクノロジー                                 | 営業所 | 本社（京都府福知山市）、東京（東京都港区）、京都（京都市南区）   |
|                                                       | 工場  | 長田野（京都府福知山市）、京都（京都市南区）、草津（滋賀県草津市） |
| (株)リチウムエネルギー<br>ジャパン                                  | 営業所 | 本社（滋賀県栗東市）                        |
|                                                       | 工場  | 栗東（滋賀県栗東市）                        |
| (株)ブルーエネルギー                                           | 営業所 | 本社（京都府福知山市）                       |
|                                                       | 工場  | 長田野（京都府福知山市）                      |
| (株)ジーエス・ユアサ<br>フィールディングス                              | 営業所 | 本社（東京都大田区）                        |
| (株)GSユアサ<br>インフラシステムズ                                 | 営業所 | 本社（埼玉県川越市）                        |
|                                                       | 工場  | 川越（埼玉県川越市）                        |
| 台湾杰士電池工業股份有限公司                                        | 本社  | （台湾）                              |
| 天津杰士電池有限公司                                            | 本社  | （中国）                              |
| 湯浅蓄電池（順徳）有限公司                                         | 本社  | （中国）                              |
| GS Yuasa Battery Europe Ltd.                          | 本社  | （英国）                              |
| Yuasa Battery, Inc.                                   | 本社  | （米国）                              |
| Century Yuasa Batteries Pty. Ltd.                     | 本社  | （豪州）                              |
| PT. Yuasa Battery Indonesia                           | 本社  | （インドネシア）                          |
| Siam GS Battery Co., Ltd.                             | 本社  | （タイ）                              |
| GS Battery Vietnam Co., Ltd.                          | 本社  | （ベトナム）                            |
| Inci GS Yuasa Aku Sanayi ve<br>Ticaret Anonim Sirketi | 本社  | （トルコ）                             |

- (注) 1. (株)GSユアサは、2022年4月16日付で北海道支社を札幌市中央区北一条西六丁目1番地2に移転いたしました。
2. (株)GSユアサは、2023年4月1日付で(株)GSユアサ インフラシステムズを吸収合併しております。これに伴ない、同日付で埼玉県川越市の工場を(株)GSユアサの生産拠点としております。
3. (株)GSユアサは、2022年5月24日付でInci GS Yuasa Aku Sanayi ve Ticaret Anonim Sirketiの株式を追加取得し出資比率を60%としたうえで、連結子会社化いたしました。

② 企業集団の使用人の状況（2023年3月31日現在）

| 使用人数    | 前連結会計年度末比増減 |
|---------|-------------|
| 14,317名 | 746名増       |

(9) 重要な子会社等の状況

① 重要な子会社の状況（2023年3月31日現在）

| 名称                                                 | 資本金          | 出資比率     | 主要な事業内容                    |
|----------------------------------------------------|--------------|----------|----------------------------|
| (株)GSユアサ                                           | 10,000百万円    | 100.0%   | 蓄電池、電源装置の製造、販売             |
| (株)ジーエス・ユアサ バッテリー                                  | 310百万円       | (100.0)% | 蓄電池の販売                     |
| (株)GSユアサ エナジー                                      | 3,850百万円     | (100.0)% | 蓄電池の製造、販売                  |
| (株)ジーエス・ユアサ テクノロジー                                 | 480百万円       | (100.0)% | 蓄電池の製造、販売                  |
| (株)リチウムエナジー ジャパン                                   | 7,500百万円     | (51.0)%  | 蓄電池の製造、販売                  |
| (株)ブルーエナジー                                         | 7,500百万円     | (51.0)%  | 蓄電池の製造、販売                  |
| (株)ジーエス・ユアサ フィールディングス                              | 54百万円        | (100.0)% | 各種電池販売、電池据付工事およびメンテナンス     |
| (株)GSユアサ インフラシステムズ                                 | 320百万円       | (100.0)% | 電源装置の製造、販売、電池据付工事およびメンテナンス |
| 台湾杰士電池工業股份有限公司                                     | 902,824千NT\$ | (100.0)% | 蓄電池の製造、販売                  |
| 天津杰士電池有限公司                                         | 673,056千元    | (100.0)% | 蓄電池の製造、販売                  |
| 湯浅蓄電池（順徳）有限公司                                      | 213,999千元    | (100.0)% | 蓄電池の製造、販売                  |
| GS Yuasa Battery Europe Ltd.                       | 47,500千STG £ | (100.0)% | 蓄電池の製造、販売                  |
| Yuasa Battery, Inc.                                | 6,500US\$    | (100.0)% | 蓄電池の製造、販売                  |
| Century Yuasa Batteries Pty. Ltd.                  | 15,600千A\$   | (50.0)%  | 蓄電池の製造、販売                  |
| PT. Yuasa Battery Indonesia                        | 3,154百万RP    | (50.0)%  | 蓄電池の製造、販売                  |
| Siam GS Battery Co., Ltd.                          | 71,400千THB   | (60.0)%  | 蓄電池の製造、販売                  |
| GS Battery Vietnam Co., Ltd.                       | 113,592百万VND | (77.5)%  | 蓄電池の製造、販売                  |
| Inci GS Yuasa Aku Sanayi ve Ticaret Anonim Sirketi | 153百万TRY     | (60.0)%  | 蓄電池の製造、販売                  |

- (注) 1. ( ) 内の数値は間接所有を示します。  
 2. 当社の連結子会社および持分法適用会社は、上記の各社を含めそれぞれ53社および12社であります。  
 3. (株)G S ユアサは、2023年4月1日付で(株)G S ユアサ インフラシステムズを吸収合併しております。  
 4. (株)G S ユアサは、2023年1月29日付で天津杰士電池有限公司の持分を追加取得し出資比率を100%といたしました。  
 5. (株)G S ユアサは、2022年5月24日付でInci GS Yuasa Aku Sanayi ve Ticaret Anonim Sirketiの株式を追加取得し出資比率を60%としたうえで、連結子会社化いたしました。

② 特定完全子会社の状況 (2023年3月31日現在)

| 名 称        | 住 所                 | 株式の帳簿価額   | 当社の総資産額    |
|------------|---------------------|-----------|------------|
| (株)G S ユアサ | 京都市南区吉祥院西ノ庄猪之馬場町1番地 | 79,722百万円 | 201,451百万円 |

(10) 主要な借入先および借入額 (2023年3月31日現在)

| 借 入 先       | 借 入 額      |
|-------------|------------|
| (株)三菱UFJ銀行  | 14,591 百万円 |
| (株)三井住友銀行   | 8,491      |
| 三井住友信託銀行(株) | 6,100      |
| (株)京都銀行     | 6,100      |

(11) その他の事項

当社の連結子会社である(株)G S ユアサは、本田技研工業(株)との間で、高容量かつ高出力なリチウムイオンバッテリーに関する協業に向けて、2023年4月24日の取締役会にて合併会社設立について決議し、合併契約を締結いたしました。

## 2. 株式に関する事項 (2023年3月31日現在)

- (1) 発行可能株式総数 280,000,000株  
 (2) 発行済株式の総数 80,506,203株 (自己株式 93,239株を除く。)  
 (3) 株主数 35,231名  
 (4) 大株主 (上位10名)

| 株主名                                            | 当社への出資状況 |        |
|------------------------------------------------|----------|--------|
|                                                | 持株数      | 出資比率   |
| 日本マスタートラスト信託銀行(株) (信託口)                        | 14,077千株 | 17.49% |
| (株)日本カストディ銀行 (信託口)                             | 5,714    | 7.10   |
| 明治安田生命保険(相)                                    | 2,800    | 3.48   |
| トヨタ自動車(株)                                      | 2,236    | 2.78   |
| (株)三菱UFJ銀行                                     | 1,865    | 2.32   |
| 日本生命保険(相)                                      | 1,789    | 2.22   |
| (株)京都銀行                                        | 1,548    | 1.92   |
| 三井住友信託銀行(株)                                    | 1,470    | 1.83   |
| (株)三井住友銀行                                      | 1,421    | 1.77   |
| STATE STREET BANK WEST<br>CLIENT-TREATY 505234 | 1,220    | 1.52   |

(注) 出資比率は、発行済株式の総数から自己株式数を減じた株式数 (80,506,203株) を基準に算出しております。

- (5) 事業年度中に会社役員 (会社役員であった者を含む) に対して職務執行の対価として交付された株式に関する事項

| 対象となる役員        | 株式数    | 交付された者の人数 |
|----------------|--------|-----------|
| 取締役 (社外取締役を除く) | 3,663株 | 1名        |

- (注) 1. 当社の株式報酬の内容につきましては、「3.会社役員の状況 (2)取締役および監査役の報酬等  
 ①取締役の報酬等の額またはその算定方法の決定に関する方針に係る事項 ②算定方法の決定方針 (ii)業績連動報酬に関する方針」に記載しております。  
 2. 上記のほか、兼務していた連結子会社にて、取締役1名に対して10,200株を交付しております。

### 3. 会社役員 の 状況

#### (1) 取締役および監査役の状況 (2023年3月31日現在)

| 氏 名       | 当社における地位および担当       | 重 要 な 兼 職 の 状 況                                                                                          |
|-----------|---------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 村 尾 修 ※   | 取締役社長、最高経営責任者 (CEO) | (株)GSユアサ取締役社長                                                                                            |
| 澁 谷 昌 弘 ※ | 専務取締役               | (株)GSユアサ専務取締役                                                                                            |
| 福 岡 和 宏   | 取締役                 | (株)GSユアサ取締役                                                                                              |
| 松 島 弘 明   | 取締役、最高財務責任者 (CFO)   | (株)GSユアサ取締役                                                                                              |
| 大 谷 郁 夫   | 取締役                 |                                                                                                          |
| 松 永 隆 善   | 取締役                 |                                                                                                          |
| 野々垣好子     | 取締役                 | (株)ニフコ社外取締役<br>サトーホールディングス(株)社外取締役                                                                       |
| 村 上 真 之   | 監査役 (常勤)            | (株)GSユアサ監査役<br>(株)ジーエス・ユアサ バッテリー監査役<br>(株)GSユアサ エナジー監査役<br>(株)ジーエス・ユアサ テクノロジー監査役                         |
| 古 川 明 男   | 監査役 (常勤)            | (株)GSユアサ監査役<br>(株)リチウムエナジー ジャパン監査役<br>(株)ブルーエナジー監査役<br>(株)ジーエス・ユアサ フィールディングス監査役<br>(株)GSユアサ インフラシステムズ監査役 |
| 藤 井 司     | 監査役                 | 辰野・尾崎・藤井法律事務所 パートナー弁護士                                                                                   |
| 辻 内 章     | 監査役                 | 辻内公認会計士事務所所長<br>(株)学情社外取締役<br>積水樹脂(株)社外監査役                                                               |

- (注) 1. ※印は、当社における代表取締役であります。  
2. 2022年6月29日開催の定時株主総会終結の時をもって、取締役副社長 中川敏幸氏が任期満了により退任いたしました。  
3. 2022年6月29日開催の定時株主総会および取締役会において、村尾 修氏が取締役社長に、澁谷昌弘氏が専務取締役に、福岡和宏、松島弘明、大谷郁夫、松永隆善、野々垣好子の各氏が取締役に、それぞれ選任および選定され、就任いたしました。  
4. 取締役 大谷郁夫、松永隆善、野々垣好子の各氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締

役であります。

5. 監査役 藤井 司および辻内 章の両氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。
6. 監査役 藤井 司氏は弁護士の業務を通じて、また、監査役 辻内 章氏は公認会計士の業務を通じて、それぞれ財務および会計に関する相当程度の知見を有しております。
7. 取締役 大谷郁夫、松永隆善、野々垣好子の各氏および監査役 藤井 司、辻内 章の両氏を、東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。
8. (株)GSユアサは、2023年4月1日付で(株)GSユアサ インフラシステムズを吸収合併しており、これにより古川明男氏は、(株)GSユアサ インフラシステムズの監査役を退任しております。
9. 当社は当社ならびに当社子会社である(株)GSユアサ、(株)ジーエス・ユアサ バッテリー、(株)GSユアサ エナジーおよび(株)ジーエス・ユアサ テクノロジーの取締役、監査役、執行役員および理事（以下「役員等」という。）の全員を被保険者とする、会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を保険会社との間で締結しております。当該保険契約では、被保険者が会社の役員等の地位に基づき行なった行為（不作為を含みます。）に起因して損害賠償請求がなされたことにより、被保険者が被る損害賠償金や訴訟費用等が填補されることとなります。ただし、贈収賄などの犯罪行為や意図的に違法行為を行なった役員等自身の損害等は補償対象外とすることにより、役員等の職務の執行の適正性が損なわれないように措置を講じております。なお、保険料は会社負担としており、被保険者の保険料負担はありません。
10. 当事業年度において、次のとおり取締役および監査役の地位および重要な兼職の異動がありました。

| 氏 名     | 異 動 内 容          | 異 動 年 月 日  |
|---------|------------------|------------|
| 澁 谷 昌 弘 | (株)GSユアサ専務取締役に就任 | 2022年6月28日 |
| 松 島 弘 明 | 最高財務責任者（CFO）に就任  | 2022年6月29日 |

(ご参考)

中核事業子会社である(株)GSユアサの2023年3月31日現在の取締役および監査役の状況は次のとおりであります。

| 氏名      | 地位および担当                                  |
|---------|------------------------------------------|
| 村尾 修 ※  | (株)GSユアサ取締役社長、内部監査担当                     |
| 澁谷 昌弘 ※ | (株)GSユアサ専務取締役、品質・安全衛生・自動車電池事業担当          |
| 奥山 良一   | (株)GSユアサ取締役、リチウムイオン電池開発・知財・リチウムイオン電池事業担当 |
| 中川 正也   | (株)GSユアサ取締役、調達・自動車電池事業（国内）担当             |
| 福岡 和宏   | (株)GSユアサ取締役、内部統制・人事・総務・リスク管理・情報システム担当    |
| 谷口 隆    | (株)GSユアサ取締役、産業電池電源事業担当                   |
| 大前 孝夫   | (株)GSユアサ取締役、研究開発・鉛電池開発・自動車電池事業（生産）担当     |
| 松島 弘明   | (株)GSユアサ取締役、理財・広報・CSR・IR担当               |
| 阿部 貴志   | (株)GSユアサ取締役、産業電池電源事業副担当                  |
| 野瀬 佳一   | (株)GSユアサ取締役、経営戦略・環境担当                    |
| 村上 真之   | (株)GSユアサ監査役（常勤）                          |
| 古川 明男   | (株)GSユアサ監査役（常勤）                          |
| 松山 秀樹   | (株)GSユアサ監査役                              |

(注) ※印は、(株)GSユアサにおける代表取締役であります。

## (2) 取締役および監査役の報酬等

### ① 取締役の報酬等の額またはその算定方法の決定に関する方針に係る事項

#### イ. 報酬に関する方針

取締役の報酬は、継続的な企業価値の向上および企業競争力の強化のため、優秀な人材の確保、維持および業績向上へのモチベーションを高めることを考慮した水準および体系としております。

当社は、2021年2月25日開催の取締役会において、取締役の個人別の報酬等の内容にかかる決定方針を決議しております。当社取締役会の決議に際しては、あらかじめ決議する内容について指名・報酬委員会へ諮問し、答申を受けております。

また取締役会は、当事業年度に係る取締役の個人別の報酬等について、報酬等の内容の決定方法および決定された報酬等の内容が、取締役会で決議された決定方針と整合していることや、指名・報酬委員会からの答申が尊重されていることを確認しており、当該決定方針に沿うものであると判断しております。

#### ロ. 算定方法の決定方針

当社では、経営陣幹部および取締役の指名や報酬等に係る取締役会の機能の独立性、客観性および説明責任を強化することを目的に、取締役会の諮問機関として独立社外取締役を委員長とする任意の指名・報酬委員会を2019年2月に設置しております。2022年度の指名・報酬委員会は8回開催し、取締役の報酬等の妥当性について協議を行ないました。取締役の報酬等の具体的な支給額は、株主総会に承認された報酬限度額の範囲内において、指名・報酬委員会の答申を踏まえ、取締役社長に委任することを取締役会で決定しております。

取締役の報酬は、固定の基本報酬ならびに短期インセンティブとしての業績連動の年次賞与および中長期インセンティブとしての業績連動の株式報酬により構成しております。

取締役の個人別の報酬等の内容にかかる決定方針の内容は次のとおりです。

#### (i) 基本報酬に関する方針

基本報酬（金銭報酬）は、各取締役の役位等に応じた基準額、連結業績、担当部門および個人の業績評価ならびに当社と同程度の事業規模の上場企業水準等を勘案して決定しております。

#### (ii) 業績連動報酬に関する方針

業績連動報酬は、年次賞与（短期業績連動報酬）と株式報酬（中長期業績連動報酬）で構成しております。

年次賞与は、継続的な業績の向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めることを目的に、取締役（社外取締役を除く。以下本項において同様とする。）に対し、短期業績連動報酬として単年度の業績（親会社株主に帰属する当期純利益等）や前年からの改善度および目標達成度を考慮して算定し、都度株主総会に諮り支給しております。

なお、当事業年度の年次賞与支給にかかる業績指標となる親会社株主に帰属する当期純利益の2021年度、2022年度の実績は、「1. 企業集団の現況に関する事項 (5) 直前3事業年度の財産および損益の状況」に記載のとおりであります。

株式報酬は、取締役に対する中長期的な業績の向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めることを目的として、2021年6月29日開催の定時株主総会決議により、業績連動型株式報酬制度を導入しております（同定時株主総会終結時点の対象取締役の員数は4名）。

本制度では、当社が設定する信託（以下本項において「本信託」という。）に金銭を信託し、本信託において当社普通株式（以下本項において「当社株式」という。）の取得を行ない、取締役に対して、取締役会が定める株式交付規程に従って役位および中期経営計画の達成度により付与されるポイント数に応じ、当社株式が本信託を通じて交付されます。なお、取締役が当社株式の交付を受ける時期は、原則として取締役の退任時です。

株式報酬付与にかかるポイントは、役位等に応じて毎月付与される固定ポイントと業績目標の達成度に応じて0%から100%の範囲で変動する業績連動ポイントからなります。

業績連動ポイントの指標は、中期経営目標としている連結の売上高、のれん等償却前営業利益率および事業活動の効率性を評価するROIC（投下資本利益率）を用いて設定することとしております。

#### (iii) 報酬等の割合に関する方針

取締役の種類別の報酬割合については、当社と同程度の事業規模の企業をベンチマークとする報酬水準を踏まえながら、上位の役位ほど業績連動報酬のウェイトが高まる構成としております。

#### (iv) 取締役の報酬等の決定の委任に関する事項

取締役社長兼最高経営責任者（CEO）村尾 修が、取締役会よりその具体的内容について委任を受けた上で、各取締役の基本報酬の額および各取締役の目標達成度を踏まえた賞与の額を決定しております。

委任を行なった理由は、当社全体の業績等を勘案しつつ各取締役の担当について評価を行なう上で、最も適していると判断したためであります。なお、取締役会は、株主総会に承認された報酬限度額の範囲において当該権限が適切に行使されるよう、指名・報酬委員会に対して取締役社長が作成した原案の公平性および妥当性について諮問をし、その結果の答申を受けることとしております。

#### ② 監査役の報酬に関する事項

監査役の報酬は、2005年6月29日開催の第1期定時株主総会において決議された報酬額の範囲内で、監査役にて協議し決定しております。なお、その役割と独立性の観点から固定報酬である基本報酬のみとしております。

③ 役員区分ごとの報酬等の総額、報酬等の種類別の総額および対象となる役員の数

| 区 分               | 報酬等の総額<br>(百万円) | 報酬等の種類別の総額 (百万円) |             |           | 対 象 と な る 役 員 の 数 ( 名 ) |
|-------------------|-----------------|------------------|-------------|-----------|-------------------------|
|                   |                 | 基本報酬             | 業 績 連 動 報 酬 |           |                         |
|                   |                 |                  | 賞 与         | 株 式 報 酬   |                         |
| 取締役<br>(うち、社外取締役) | 112<br>(28)     | 91<br>(28)       | 10<br>(-)   | 10<br>(-) | 8<br>(3)                |
| 監査役<br>(うち、社外監査役) | 40<br>(14)      | 40<br>(14)       | -           | -         | 4<br>(2)                |
| 合 計<br>(うち、社外役員)  | 152<br>(43)     | 132<br>(43)      | 10<br>(-)   | 10<br>(-) | 12<br>(5)               |

- (注) 1. 取締役の報酬限度額は、2005年6月29日開催の当社第1期定時株主総会において月額総額30百万円以内(ただし、使用人分給与は含まない。)と決議いただいております(同定時株主総会終結時点の取締役の員数は7名)。
2. 監査役の報酬限度額は、2005年6月29日開催の当社第1期定時株主総会において月額総額10百万円以内と決議いただいております(同定時株主総会終結時点の監査役の員数は4名)。
3. 取締役(社外取締役を除く。)の賞与の限度額は、2022年6月29日開催の当社第18期定時株主総会において総額10百万円以内と決議いただいております(同定時株主総会終結時点の支給対象となる取締役の員数は4名)。
4. 取締役(社外取締役を除く。)の業績連動型株式報酬の限度額および上限株式数は、2021年6月29日開催の当社第17期定時株主総会において年額総額40百万円、21,600株以内と決議いただいております(同定時株主総会終結時点の支給対象となる取締役の員数は4名)。
5. 上記の賞与の額は、当事業年度における引当金計上額であります。なお、前事業年度の事業報告に記載の引当金計上額に対する戻入額1百万円が生じております。
6. 上記のほか、兼務する連結子会社にて、取締役5名に対して総額113百万円(うち、基本報酬87百万円、賞与12百万円、株式報酬13百万円)、監査役2名に対して基本報酬24百万円が支給されております。
7. 上記のほか、当事業年度に退任した取締役1名に対し退職慰労金3百万円を支給しております。

(3) 社外役員に関する事項

① 当事業年度における主な活動状況

イ. 取締役会および監査役会への出席状況、取締役会および監査役会における発言状況ならびに社外取締役が果たすことが期待される役割に関して行なった職務の概要

(i) 社外取締役

| 氏名     | 主な活動状況                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 取締役会                  |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|
|        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 出席回数<br>／開催回数         |
| 大谷 郁夫  | <p>大谷郁夫氏は、グローバルに展開する上場企業である持株会社における経営企画、グループ管理全般に関する豊富な経験と幅広い識見を有しており、経営全般、特に第六次中期経営計画の立案等の事業戦略や当社グループの海外子会社管理におけるリスクマネジメント等の審議において貴重な指摘、提言を行なっております。</p> <p>また、筆頭独立社外取締役として指名・報酬委員会の委員長や取締役会の実効性評価等におけるヒアリング、中核事業会社である㈱GSユアサの役員との懇談の実施等においてリーダーシップを発揮しているほか、取締役会の監督機能の強化に資する有益な指摘、提言を行なう等、当社ガバナンスの向上に貢献しております。</p> | <p>回</p> <p>17/17</p> |
| 松永 隆善  | <p>松永隆善氏は、グローバルに展開する上場企業における取締役としての豊富な経験と幅広い識見を有しており、経営全般、特に第六次中期経営計画の立案等の事業戦略の審議において、客観的な立場から適切に妥当性を検証するとともに、従来の当社の視点とは異なった新たな視点での指標、考え方を提言する等貴重な指摘、提言を行なっております。</p> <p>また、独立社外取締役として指名・報酬委員会の委員や取締役会の実効性評価等において、経営のスピードアップや将来の幹部候補人材の育成、取締役会の監督機能の強化の観点等から様々な指摘、提言を行なう等当社ガバナンスの向上に貢献しております。</p>                   | <p>17/17</p>          |
| 野々垣 好子 | <p>野々垣好子氏は、グローバルに展開する上場企業の事業部門における業務経験や海外子会社における経営経験に加え、上場会社の社外取締役としての豊富な経験と幅広い識見を有しており、経営全般、特に第六次中期経営計画の立案等の事業戦略やESG施策等の審議において客観的な観点からの指摘や妥当性の検証を行なっております。</p> <p>また、独立社外取締役として指名・報酬委員会の委員や取締役会の実効性評価等における様々な指摘、提言、ダイバーシティ&amp;インクルージョンの観点を含む人的資本の活用について、当社経営への有益な助言を行なう等当社ガバナンスの向上に貢献しております。</p>                  | <p>17/17</p>          |

(ii) 社外監査役

| 氏名   | 主な活動状況                                                                                                | 取締役会          | 監査役会          |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|---------------|
|      |                                                                                                       | 出席回数<br>／開催回数 | 出席回数<br>／開催回数 |
| 藤井 司 | 藤井 司氏は、弁護士としての豊富な経験を通じて培った幅広い識見と、法律やリスクマネジメントに関する高い専門性に基づき有益な意見、提言を行ない、当社グループのコーポレートガバナンス向上に貢献しております。 | 回<br>17／17    | 回<br>13／13    |
| 辻内 章 | 辻内 章氏は、公認会計士としての豊富な経験を通じて培った幅広い識見と、財務や会計に関する高い専門性に基づき有益な意見、提言を行ない、当社グループのコーポレートガバナンス向上に貢献しております。      | 17／17         | 13／13         |

□. 他の法人等の重要な兼職の状況および当社と当該他の法人等との関係

- (i) 取締役 野々垣好子氏は、(株)ニフコおよびサトーホールディングス(株)の社外取締役を兼務しております。なお、当社と当該法人との間には重要な取引関係等はありません。
- (ii) 監査役 藤井 司氏は、辰野・尾崎・藤井法律事務所のパートナー弁護士であります。なお、当社と当該法律事務所との間には取引関係等はありません。
- (iii) 監査役 辻内 章氏は、辻内公認会計士事務所の所長、(株)学情の社外取締役および積水樹脂(株)の社外監査役を兼務しております。なお、当社と当該公認会計士事務所および当該法人との間には重要な取引関係等はありません。

② 責任限定契約の内容の概要

当社と社外取締役および社外監査役との間では、当社定款の規定および会社法第427条第1項に基づき、同法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結しております。当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、10百万円または同法第425条第1項に定める最低責任限度額のいずれか高い額としております。

# 連結貸借対照表 (2023年3月31日現在)

(単位：百万円)

| 資 産 の 部                |                | 負 債 の 部                      |                |
|------------------------|----------------|------------------------------|----------------|
| 科 目                    | 金 額            | 科 目                          | 金 額            |
| <b>流 動 資 産</b>         | <b>266,125</b> | <b>流 動 負 債</b>               | <b>175,312</b> |
| 現金および預金                | 36,272         | 支払手形および買掛金                   | 51,691         |
| 受取手形、売掛金および契約資産        | 97,591         | 電子記録債権                       | 25,327         |
| 電子記録債権                 | 6,855          | 短期借入金                        | 42,318         |
| 商品および製品                | 60,127         | 1年内償還予定の社債                   | 10,000         |
| 仕掛品                    | 21,848         | 未払金                          | 14,225         |
| 原材料および貯蔵品              | 28,094         | 未払法人税等                       | 4,081          |
| その他の                   | 15,722         | 設備関係支払手形                     | 192            |
| 貸倒引当金                  | △ 387          | 設備関係電子記録債権                   | 3,539          |
| <b>固 定 資 産</b>         | <b>274,754</b> | 役員賞与引当金                      | 120            |
| <b>有 形 固 定 資 産</b>     | <b>165,043</b> | その他の負債                       | 23,816         |
| 建物および構築物               | 60,135         | <b>固 定 負 債</b>               | <b>94,704</b>  |
| 機械装置および運搬具             | 51,036         | 社債                           | 10,000         |
| 土地                     | 28,390         | 長期借入金                        | 41,357         |
| リース資産                  | 222            | リース債務                        | 8,510          |
| 使用権資産                  | 7,946          | 繰延税金負債                       | 20,474         |
| 建設仮勘定                  | 10,985         | 再評価に係る繰延税金負債                 | 777            |
| その他の                   | 6,326          | 役員退職慰労引当金                    | 78             |
| <b>無 形 固 定 資 産</b>     | <b>5,240</b>   | 退職給付に係る負債                    | 5,372          |
| のれん                    | 1,233          | その他の                         | 8,133          |
| リース資産                  | 673            | <b>負 債 合 計</b>               | <b>270,016</b> |
| その他の                   | 3,333          | <b>純 資 産 の 部</b>             |                |
| <b>投 資 そ の 他 の 資 産</b> | <b>104,470</b> | <b>株 主 資 本</b>               | <b>189,404</b> |
| 投資有価証券                 | 63,254         | 資本                           | 33,021         |
| 退職給付に係る資産              | 31,894         | 資本剰余金                        | 53,201         |
| 繰延税金資産                 | 2,077          | 利益剰余金                        | 103,503        |
| リース債権                  | 2,694          | 自己株式                         | △ 321          |
| その他の                   | 4,894          | <b>そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額</b> | <b>41,272</b>  |
| 貸倒引当金                  | △ 344          | その他有価証券評価差額金                 | 14,173         |
| <b>繰 延 資 産</b>         | <b>26</b>      | 繰延ヘッジ損益                      | △ 450          |
| 社債発行費                  | 26             | 土地再評価差額金                     | 1,794          |
| <b>資 産 合 計</b>         | <b>540,906</b> | 為替換算調整勘定                     | 18,727         |
|                        |                | 退職給付に係る調整累計額                 | 7,026          |
|                        |                | <b>非 支 配 株 主 持 分</b>         | <b>40,213</b>  |
|                        |                | <b>純 資 産 合 計</b>             | <b>270,890</b> |
|                        |                | <b>負 債 お よ び 純 資 産 合 計</b>   | <b>540,906</b> |

# 連結損益計算書 (2022年4月1日から2023年3月31日まで)

(単位：百万円)

| 科 目             | 金 額   | 金 額     |
|-----------------|-------|---------|
| 売上              |       | 517,735 |
| 売上原価            |       | 404,506 |
| 売上総利益           |       | 113,228 |
| 販売費および一般管理費     |       | 81,728  |
| 営業利益            |       | 31,500  |
| 営業外収入           |       |         |
| 受取利息および配当金      | 1,024 |         |
| 正味貨幣持高による利得     | 585   |         |
| その他の            | 746   | 2,357   |
| 営業外費用           |       |         |
| 支払利息            | 3,295 |         |
| 持分法による投資損失      | 2,832 |         |
| 為替差             | 1,677 |         |
| その他の            | 1,837 | 9,643   |
| 経常利益            |       | 24,213  |
| 特別利益            |       |         |
| 固定資産売却益         | 2,876 |         |
| 投資有価証券売却益       | 2,185 |         |
| 受取保険金           | 43    |         |
| 国庫補助金受贈益        | 352   |         |
| 段階取得に係る差益       | 1,010 |         |
| 子会社清算益          | 473   | 6,941   |
| 特別損失            |       |         |
| 固定資産除却損         | 576   |         |
| 固定資産売却損         | 14    |         |
| 固定資産圧縮損         | 384   |         |
| 減損              | 2,912 |         |
| 関係会社事業整理損       | 113   |         |
| その他の            | 18    | 4,018   |
| 税金等調整前当期純利益     |       | 27,137  |
| 法人税、住民税および事業税   | 7,571 |         |
| 法人税等調整額         | 1,027 | 8,599   |
| 当期純利益           |       | 18,537  |
| 非支配株主に帰属する当期純利益 |       | 4,611   |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 |       | 13,925  |

(注) 本事業報告および本連結計算書類に記載の金額は表示単位未満を切り捨て、比率は四捨五入しており、金額には消費税等は含まれておりません。

# 株主総会会場のご案内

会場 京都市南区吉祥院西ノ庄猪之馬場町1番地 当社ホール



1. JR西大路駅から株主総会会場までの徒歩順路は、「--->」のとおりです。  
(所要時間約8分)
2. JR西大路駅南口をご利用の際は、改札を出て左折し、**歩道橋脇の高架下**をお通り下さい。
3. JR西大路駅北口をご利用の際は、改札を出て直進し、正面の階段をおりて下さい。
4. 駐車場の用意はいたしておりませんので、お車でのご来場はご遠慮願います。